## 世界遺産の港町に きれいな水を取り戻す

財政が苦しい途上国では、 下水道の整備が後回しになりやす ベトナムにある観光名所ホイアンも その例に漏れなかったが、JICAと日本企業の 協力によって美しい町へと変わった。



上:処理施設の完成後、水路の水はきれい

になり、悪臭も消えた。下:以前の日本橋の

って悪臭も立ち込めていた。

ロがた

が現地で機械・電気工事の陣頭

共同企業体

水路は黒く濁っていた。

左:下水処理場の外観。世界遺産となった町の景観に配慮した瀟洒な 造りだ。右:有機物を分解する散水ろ床。高い性能を持つ。



メタウォータープラントエンジニアリング事業本部 佐々木 統一郎

「日本ガイシ」と「富士電機」のそれ 立された 「メタウォーター」。「PTF はほ ぼ自動運転です。そのプログラミング をベトナム人の技師に任せた理由は、 万一のトラブル時にも現地で対応でき るようにと考えてのことでした」。

そこで導入されたのが日本の水 タウ 「先進的省エ

「水路沿いのお土産物屋のおばさ いる姿が見られるようになった。 日本橋の水路には魚が泳 ム上の大文字と小文字の るように伝えると『日 単位の厚みの違い、 と返ってきました。 実際の作業やコ ログラミングは、 その重要性を ってこそ機能 佐々木さ いちばんう たね』

て生まれた日本人街がある。 い町並みは世界遺産に登録 (正式名称は来遠橋) 間 200 万人もの観光客 人気の名所は 1 5 9 3

500万人都市の 具年、ヤンゴンの水道事業に JICAは協力を続けている。 浄水場や水道管の整備から 組織改革に至るまで、 その取り組みは多岐にわたって ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト 2015年7月~2020年7月

上:ヤンゴン市東部のラグンビン浄水場建設地。浄水場の関連設 備である送水ポンプや監視制御システムをはじめ、送水管・配水管の敷設などをJICAが協力した。右:水道管へのバルブ・流量計取り付 け技術などを学ぶYCDCの職員。福岡市水道局や東京都水道局の

職員などがアドバイザーとして現地に派遣されている。

その取り組みは多岐にわたっている。



長く続いた軍事政権の影響 年

水場の新規建設や関連施設の 老朽化した送配水管の改良計

るプ

策などを 漏水などによる無収水が多ければ水道料金の徴収はままなら地 た ない。2013年からJICAは老朽化した送配水管の改良にも協



地元の小学生が浄水場を見学。日本の社会科見学を参考に 始められた。水道への関心を高めるとともに、事業者側には安 全な水を提供したいという意識が生まれる。

全域の上水道事 た。

た水道事業体を発足させ ビスの向上にもつ 身のスキルア ンゴンでは 強化とス まれ、 を感じる そ な

May 2019 **mundi 14** 

水道料金をお

開発委員